

第5回新図書館西敷地利活用検討委員会の概要について

日 時：平成29年1月26日（木） 午後1時30分～午後2時30分

場 所：たかじょう庁舎 6階会議室

出席者：8名 委員長 産田 節雄 副委員長 広末 幸彦
委員 和泉 潤 委員 土居 純子
委員 古谷 純代 委員 渡部 淳
委員 中澤 慎二 委員 清水 博

欠席者：1名 委員 吉岡 諄一

事務局： 高知市商工観光部副部長

松村 和明

参事商工振興課長事務取扱 狩場 信壽

商工振興課中心市街地・地域商業活性化推進室長 松岡 宏輔

商工振興課中心市街地・地域商業活性化担当係長 和田 夕子

1 開会

2 議事

(1) 新図書館西敷地の利活用に関する市民アンケート及び県外出身者の意見について（報告）

(2) 機能評価と基本コンセプトの検討について

(3) 検討結果の報告について

3 その他

4 閉会

■ 議事概要

(1) 新図書館西敷地の利活用に関する市民アンケート及び県外出身者の意見について（報告）

事務局より説明（資料1ア～ウ）

※意見なし

(2) 機能評価と基本コンセプトの検討について（資料2）

【委員長】

上3つは定量的，下中活関係は定性的に出している。その辺りを踏まえ意見を出してほしい。

【副委員長】

ウエイト，○，△など微妙なところもあるが，よく落とし込んでいる。皆さんの意見を集約して，機能を11にし，◎○△をつけており，この出てきた点数は重きを置いてもいいのではないかと思う。総合的にかなり考えてこのような点数になっているおり，ABCに分かれている。アンケート結果でこれほどはコメントを出してもらえないアンケートはないと思うので，それにしたがって評価しており，精度が高いと言うか，市民の皆さんの意見を尊重しているように思う。アンケートは3,000人を無作為でやっている。県外人の意見と市民の意見とでは少し乖離はあるがやむを得ないと思う。この結果は尊重すべき内容になっていると思う。

【委員長】

他に何かないか，この辺がおかしいというところはないか。

【委員】

すごくわかりやすいアンケート結果である。○△◎があるが、×もあっていいのではないか。0.8点をつけている項目も、これは点数がつけることができないという項目もあると思う。そういう意味で×で0点でもいいと思った。

【事務局】

○を1.0とし、そこを基準に上下2割増、2割減というような形で設定した。例えば、評価表の機能②のエの(2)の「若者に魅力ある働く場をつくる」というところで、歴史や文化性があるかと言えば、なかなか認められないのではないかとこのところ△になっている。今、委員から話があったように、こういうことであればこの点が0.8点でなくていいという意見だと思うが、その辺りは各機能を細かく分類すると点数が非常にバラけてきて、評価がし難いということもあるので、今回は三段階評価ということにした。

【委員】

総合評価で100点以上出ている⑥⑧⑨⑪の4機能は共通しているところが非常にあると思う。観光客、日曜日やよさこい、家族連れに対して、広場機能というのは、広いスペースがあってこそできるものであり、この広場機能というのは後の⑥⑧⑨を満たすことができるのではないかと思う。箱モノを造らなくても広いスペースがあれば簡易的なものを造ったりして、後の⑥⑧⑨を満たすことができ、本当に有効に使えるのではないか。非常によくまとめあげている。

【委員】

広場機能の例示が災害発生時に避難できる広場となっており、広場と災害ということで点数が伸びたのかと思ったが、アンケートを見ると災害のことはほとんど触れていなくて、ゆったりとしたところが欲しいという主旨であることがわかる。単に災害用の広場ということではなく、余裕をもって安全に過ごしたいということだと思う。そうすると⑨「家族で訪れて、子どもが安全に遊ぶことができる機能」と半分以上重なり合うような感じがして、⑨と⑪を併せると広々としたゆっくり過ごせるスペース、子ども達が集まれるスペースが必要だという傾向が強いように思う。⑥と⑧は観光客との関係も考慮して広場の展開の仕方を考えれば、上位4つの機能は何らかの一つの機能になるのではないかと思う。

【委員長】

当初は3つに絞るという話をしていたが、やはりこの表のとおり報告していいか。

【委員】

それはどういう意味か。

【委員長】

当初は3点ぐらいに絞ってという話をしていたが、そういうことではなくてAランクが4つもあるわけであるから、この表のとおり市へ報告していくということである。よろしいか。

【副委員長】

最初から前提条件があり、途中で中澤部長からそれは絶対ではないという話もあったが、民活と定期借地、プロポというのがスタートからの前提であったわけで、私も懸念をしていた。今、委員長からこういう話があり、この委員会として集約されていると思う。Bだからいかん

というわけではないが、併せ技でAとBとか、わかりませんがCとか色々あるかもしれないが、その可能性が出ている。上位4つ、5つが同じ志向ということもある。私は委員会としてはこの方向でいいと思う。次の段階へいくべきだと思う。

【委員長】

副委員長から意見が出たが、このような方向で進めていっていいか。

(異議なし)

(3) 検討結果の報告について

【委員長】

先ほど、西敷地にふさわしい機能と基本コンセプトが決まったので、機能評価表を中心にこれまでの検討経過も含め、検討委員会の報告書を作成し、市長へ報告させていただきたいと考えている。報告書は私に一任いただいてよろしいか。作成については事務局と相談しながら、案を作成し、皆さんに送付してご確認いただきたいと思うのでよろしく願います。その後私と副委員長で市長へ報告させていただきたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

■ その他概要

【事務局】

高知新聞の記事にあったとおり、1月23日に土佐経済同友会から「追手前小学校西跡地利活用についての提言」をいただいたが、その内容については新聞報道のとおりである。また本検討委員会設置後からこれまでには、昨年10月に新図書館西敷地活用を考える会から、同敷地の活用について市民参画による計画づくりを求める請願書もいただいている。

【委員長】

その他何かないか。

【副委員長】

第二期中活計画を作るということで1回目の会を開催し、今年12月を目指して二期中活計画の認定を受けるために(二期中活計画の)検討委員会というものができた。その中で当然この西敷地というのは重要な臍の部分になっている。二期計画を立てるといふところでの整合性が必要になる。(西敷地の)検討委員会で答申を出して、二期計画では(西敷地を)検討する余地はなく、(この答申を二期計画に)このまま載せるということであるのか。

【事務局】

現計画では57事業掲載している。当然、皆様方に西敷地利活用について検討いただいたこの内容をもって取組を進めていくわけだが、現計画期間が平成29年度末であるので、現計画の計画期間内にはこの西敷地の取組については完了しない。そういうことで第二期計画へ西敷地の取組についても反映させて繋げていきたいと考えている。

【委員】

私見であるが、西敷地は非常に大事な土地であり、皆さんの注目度が高いことは周知の事実であるが、観光客や市民からものすごい人気のスポットであるひろめ市場は、この先どうなる

のかということも西敷地の問題と非常に関連性があるのではないかと思う。施設ができてから随分長くなり、耐久性とか色々な問題を抱えているのではないかと思う。全く私たち住民には今後どうなるかということがもれ聞こえて来ない。それも併せて重要ではないかと思う。

【事務局】

ひろめについては、民間事業者の取組であるが、高知県を代表する観光スポットとなっている。今回の西敷地の3つのゾーンを考える上でひろめ市場を含め、観光・文化ゾーンとして考えることが重要ではないかと示したところである。委員さんからありましたとおり、西敷地の位置付けは3つのゾーンの結接点であり、今回検討委員会で絞っていただいた機能の中からふさわしいものを提案いただけるような形で我々も取組をしていきたいと考えている。

【委員】

最後の報告の時にでも、この機能評価表案をご覧いただいて、お二人の委員から貴重な意見をもらったので、単に数値やABCだけではなく、そういったご意見を市の方へあげていただけたらいいと思う。

【委員】

こちらに直接関係がないのかもしれないが、新聞報道であったように、私どもで立地適正化計画を作成し、現在パブリックコメントにかけているところである。今後、人口が減っていく中、いかにコンパクトで経営効率の良いまちづくりをしていくかという中で、居住誘導区域であるとか都市機能誘導区域を定めるものである。もちろん中心市街地と言えば中活エリアが一番の核となり、そこを一番大きな都市機能誘導区域としている。要件にかなう民間事業者の取組があれば一定補助もある。今後、現在検討いただいているこの西敷地についても、うまく言えばこの補助制度の活用も可能であり、総合的にまちづくりを進めなければならないと思っているので報告させてもらった。

午後2時30分終了